



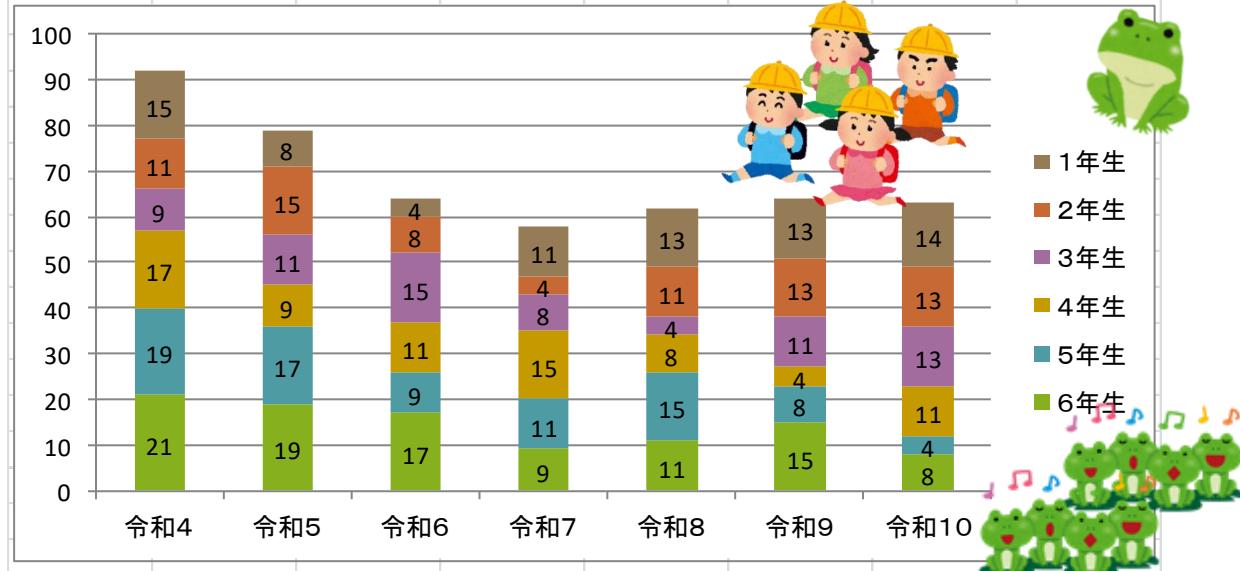
～2023年度の学校経営に関する改善・工夫～ 令和5年度の西郷小は、こんなところがかわっています

このことにつきましては、2月末の学校だよりで周知済ですが、新1年生も入りましたので内容を一部加えて再配布いたします。

1：複式学級の設置について（令和7年度以降）

・9月1日時点での出生数データによりますと、今後の児童数の移り変わりは下表のようになります。

年度	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10
6年生	21	19	17	9	11	15	8
5年生	19	17	9	11	15	8	4
4年生	17	9	11	15	8	4	11
3年生	9	11	15	8	4	11	13
2年生	11	15	8	4	11	13	13
1年生	15	8	4	11	13	13	14
全校数	92	79	64	58	62	64	63



- ・令和3年度に初めて100人を切った西郷小学校の児童数ですが、令和7年度58人の下限まで減り続け、その後は60人台で推移することがわかると思います。
- ・表の中には各学年の児童数が表示されていますが、令和7年度以降、8人・4人・11人の学年に色（カラー版だと橙色）がついているのがおわかりでしょうか。これが「複式学級が想定される学年」です。文部科学省の示す学級編制の標準によりますと、小学校の場合、「2つの学年の児童で編制する学級の児童数は16人（第1学年の児童を含む学級にあっては8人）」が基準となります。このルールを本校にあてはめてみましょう。令和6年度の1年生（4人）+2年生（8人）=12人<16人ということで複式学級になりそうですが、（ ）内の「第1学年の児童を含む学級にあっては8人」を超えてるので複式学級にはなりません。ですが、令和7年度になると2年生（4人）+3年生（8人）=12人<16人を下回り、複式学級となってしまうのです。
- ・次に「令和7年度入学生の11人は、なぜ複式学級に想定されてしまうのか？」を説明します。文部科学省の学級編制の標準では、学級数が最小になるように編制することが求められます。令和8年度をご覧ください。A2年生（11人）+3年生（4人）=15人、B3年生（4人）+4年

生(8人)=12人と、**A**と**B**のどちらも基準16人を超えません。全体の学級数が変わらない場合、**A**と**B**のどちらを選択するかは学校が判断することになるからです。

- ・「複式学級」は1つの学級に2つの学年が入るので、長所と短所が出てきます。
一般的には次のような例が挙げられています。

◎学年の異なる関係の中で人間関係のあり方を学ぶことができます

◎学年が異なる子ども同士で、互いに刺激を受けたり、学び合ったりすることができます

◎自主学習が増えるので、自己管理の能力が養われます

▼上の学年の子どもの向上心や学力の伸びが限定されることがあります

▼自主学習に慣れない間は戸惑うことがあります

- ・複式学級が生じる令和7年度に向けて、次年度から2ヶ年計画で、全教職員を対象とした「複式指導研修」を展開する予定です。この研修を通じて、複式学級の短所を補い、かつ長所を活かした指導が行えるよう計画的に準備してまいります。



2：今年度も校内相撲大会を中止します

- ・新型コロナウィルス対応は、5月8日に第5類へ移行となります。①その後も生活様式を工夫して感染を防止する生活が続くと考えられます。また、競技の特性上、②身体接触が避けられない、③顔を寄せ合う体勢になることも多く、飛沫を吸い込む心配がある等、あらゆる運動の中でも最も感染リスクの高い活動となってしまいます。他にも開催にあたっては、指導時数の問題、相撲指導の難しさ、土俵の俵の硬化、児童数減少等、様々な問題が生じております。こうした実情を「西郷学校運営協議会」にお諮りし、結果「次年度の大会は中止すべき」との回答をいただきました。たいへん残念ですが、校内相撲大会は今年度も「中止」とさせていただきます。



3：水泳学習を1学期間（10時間程度）とし、校内水泳大会に変更します

- ・これまで水泳は長期間に多くの時間をかけて取り組む活動でした。昨年度、期間を1学期間に縮めて10時間程度の学習としましたが、十分な成果を上げることができました。この10時間という配当時数は全国的にも標準とされる数値です。期間を短縮することで、2学期の行事や学習に余裕を持って臨める効果もありました。そこで、今年度の水泳学習も、期間を1学期間（6～7月）といたします。あわせて、3年前まで実施していた「校内水泳記録会」を「校内水泳大会」に改定し、記録や距離に挑戦するだけでなく、水慣れ等の成果も発表できる機会とします。尚、個人として出場できる種目は1種目とし、リレー種目は行わないことにいたします。

4：地域体験学習を持続可能な活動とし、「感謝のつどい」も会食実施の方向で進めます

- ・実りの秋、楽しみにしていた「感謝のつどい」でしたが、コロナ感染防止のために残念ながら中止。給食を止めていた関係で、子どもたちと職員は3年ぶりの会食（おにぎり＆豚汁に改定。黙食）を行いました。満面の笑みを浮かべ、「おいしい！」と喜ぶ姿に、西郷にとって最も大切な行事と再確認しました。そして、地域や家庭の皆様と力を合わせて、西郷のよさを未来の担い手である子どもたちにつないでいこう！と心に決めました。令和7年度以降、複式学級の立ち上げ等もあり、地域体験学習（下表）の配当学年を若干改定することがあります。原則的には現行のシステムを永く続けていけるように努めます。また今年度、地域やお世話になった方々と一緒にできなかった「感謝のつどい＆会食」も、今度こそ実現させたいと心から願っております。

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
大根栽培	大豆栽培	ネギ栽培	クロマツ学習	稻作学習	ミズバショウ学習

5：各地区で開催していた教育懇談会を、一斉教育懇談会として本校で開催します

- ・コロナ禍で中止していた教育懇談会を再開いたします。方法を変え、本校体育館に関係者が一堂に会し、一斉教育懇談会として、6月30日（金）夜に開催します。参加はPTA会員（保護者）の他、各地区的会長・公民館長、西郷自治会長、本校管理職となります。どうぞご了知ください。

6：めろん子見守り隊 活動再開！ご賛同・ご協力いただける方いらっしゃいますか？



・コロナ禍で休止していた見守り隊を再開します。現在、協力いただける方を募集中です。